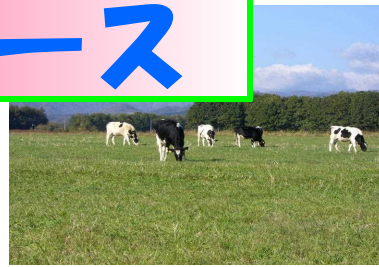
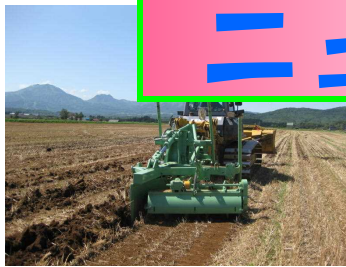


▼ 公社HP

<https://www.adhokkaido.or.jp/>



# 農業公社 ニュース



(第4号)

新規採用16名、職員登用4名、嘱託採用6名の計26名と、最近では最大規模の採用者を迎え、当公社の新年度がスタートしました。

新型コロナウイルスの感染拡大が気がかりな毎日ですが、これから春の農作業も本格化します。豊穰の秋を迎えられるよう、そして道産農畜産物の消費拡大が一層進むよう祈念しつつ、当公社としても関係機関・団体の方々と一緒に「人と農地」に係る施策の推進に取り組んでまいりたいと存じます。

農業公社ニュースの第4号をお届けいたします。

## ■ 各支所で「出動式」を実施！ 農用地開発整備事業の工事における安全を祈願

今年は雪解けが早く進んでおり、いよいよ新年度の業務が本格化します。例年4月には、主に農用地開発整備事業の工事開始に伴い、「出動式」という形で1年間の工事の安全を祈願する神事を行っており、今年度も各支所で出動式が実施されます。

出動式を契機に、各職員が決意を新たにしながら、農業者や地域農業の負託に応える組織として、令和3年度も各種事業に取り組んでまいります。

- ▼ 出動式の日程
- 4月 9日：上川、十勝、北見、道北支所
  - 4月14日：日胆(道南)、釧路、根室支所



(根室支所)



(北見支所)

▲ 過年度の出動式の様子

【総務部】

## ■ 前年度並みの138名の方々が来場！ (3/6開催の「北海道新規就農フェア」)

新規に就農したい方や農業を仕事にしたい方のための相談会を、3/6に札幌市内のホテルポールスター札幌（中央区北4条西6丁目）で開催しました。

この相談会には、道内の38市町村等が参加し、体験や研修から就農までの道筋、支援対策、地域の魅力や農村の生活環境などについて、熱心な話し合いが繰り広げられました。

会場は相談ブースの間隔を十分に取り、検温や消毒、対応者の人数制限、飛沫感染防止シートの設置など、新型コロナウイルス感染対策に万全を期しました。

コロナ下でどれくらいの方々が訪問していただけるか心配をしておりましたが、前年度並みの138名が来場されるとともに、訪問された相談ブース数も多く、参加した市町村等の皆さんの満足度も高い結果となりました。



◀フェアにおける就農相談の様子

【お問い合わせ先】 電話番号：011-271-2255  
【担い手支援部】

## ■ 「北海道で農業をはじめると」に動画コーナーを設置

北海道農業担い手育成センターでは、ホームページ「北海道で農業をはじめると」を一部改修して動画コーナーを設けました。

第一弾として、超入門編「就農相談のおすすめ」をアップ。センターの役割をわかりやすく解説しています。さらに、「頑張ってます！新規就農者」の記事に動画インタビューを追加しました。就農した先輩たちの実感のこもった生の声をおとどけします。今後も順次動画を追加します。乞うご期待！

▼ 「北海道で農業をはじめると」より



(就農相談のおすすめ)



(頑張ってます！新規就農者)

▼ (公財) 北海道農業公社ホームページ

<https://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/movie/2021/02/post-2.html>

【担い手支援部】

## ■ 新規就農優良農業経営者表彰者（令和2年度）が決定！

当会社では毎年度、就農後10年程度経過した新規就農経営者の中から、優良な経営を実践されている方を地域から推薦していただき、表彰を行っています。さる3月25日に、令和2年度の表彰者2組が決定いたしました。

千歳市で施設・露地野菜経営をされている大川<sup>おおかわ</sup>聖<sup>せい</sup>士<sup>し</sup>さん、純子<sup>じゅんこ</sup>さんご夫妻と広尾町で酪農経営をされている成田<sup>なりた</sup>芳樹<sup>よしき</sup>さん、千果<sup>ちか</sup>さんご夫妻であり、概要は次のとおりです。

大川さんは青森県出身で、東北大学で新規就農をテーマに卒論を執筆したことを契機に就農を決意し、北海道で農業法人の従業員として農業に従事しながら畜産・畑作・野菜・加工・流通・販売等幅広く学び、道央農業振興公社の研修生を経て、平成23年に千歳市で就農しました。

就農時は農地は借地、中古のハウスや農業機械の活用により初期投資を抑えるとともに、季節性の違う多品目の施設・露地野菜を生産し、出荷と労働の平準化を図りながら経営の安定と向上に努め、令和2年には当初目標の売上げ3千万円を達成しました。

また、自治会や消防団など地域貢献にも積極的で、新規就農希望者の受入指導や就農時のサポートにも活躍しています。

成田さんは三重県出身で、北海道での生活に憧れ帯広畜産大学に進学、卒業後、芽室町酪農ヘルパー、JAめむろ勤務を経て、広尾町への就農を決意し、平成23年に公社営農場リース事業を活用して就農しました。

就農後は「ゆとりある酪農」を基本に、経営規模を維持しながら放牧主体の経営を実践し、カウコンフォートや衛生管理を徹底しながら、1頭当たり年間乳量9,000kgをキープしつつ、JAひろおの乳質改善の部で4回の最優秀賞、3回の優秀賞を受賞するなど、高い技術力と堅実な経営を実践し、所得率は組勘ベースで46.1%、減価償却費を除いても32.7%と優良な経営を実現しています。

また、多忙な中でも、農事組合長や町内会の役員も歴任し、誠実な人柄は地域からも高く評価されています。

当会社では、北海道大学農学部の東山准教授を審査委員長として厳正な審査を行った結果、推薦のあったこの2組を「最優秀賞」に選定しました。

新型コロナウイルスの感染拡大のため、例年のように札幌での表彰式は行えないことから、それぞれ現地で表彰状と副賞を交付させていただくこととしています。



【担い手支援部】

## ■ 延べ38回に及ぶ現地派遣等を通じた経営相談を実施

令和2年度から当公社が主体となって取り組んでいる北海道農業経営相談所の取組内容をお知らせします。

農業者の方々からの相談件数は、本年3月までの合計で55件（電話対応のみの場合を除く）、内訳は個人からが39件、法人からが16件となっています。

相談内容で最も多いのは「法人化に向けた相談」で、次いで「事業継承」、「雇用・労務」、「経営改善」という順になっており、中小企業診断士や税理士など登録専門家の現地派遣は延べ38回に及び、地域別では道東が最も多く、次いで道北、道央の順となっています。

今後も、高齢化や担い手不足に対応するための法人化や事業継承に向けた相談が多く寄せられてくることが見込まれますので、必要に応じて、関係機関・団体の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



- ▲ 相談案件の支援方法を審議する「経営戦略会議」  
（関係7機関・団体及び2オブザーバーで構成、  
毎月2回開催）

- ▼ 経営相談の詳細及びお申込みはこちらから  
（公財）北海道農業公社内 北海道農業経営相談所  
<https://www.adhokkaido.or.jp/keieisodan/keieisodan.html>

【お問い合わせ先】 電話番号：011-522-5579

【農業経営相談室】

## ■ 令和3年度は借受希望者の公募結果を「毎月」公表

公社が農地中間管理事業で借受した農地の受け手となるために必要な借受の応募は、令和3年2月公表分で36市町村・98件・1,242haでした。

借受希望は随時受付しておりますが、借受応募の手続きを経て、公社HP上で公表の後に有効となります。

平成28年度応募分より有効期間を5年間としておりますが、令和3年5月末より、順次、有効期限を迎えます。令和3年度については、公募結果の公表をこれまでの年3回（＝6月・10月・2月）ではなく、毎月公表とします。期間満了を迎えられる方は、忘れずにご応募ください。

<https://www.adhokkaido.or.jp/chukankikou/borrow/>

【農用地部】

## ■ 農地中間管理事業に関する「市町村等聞き取り調査」を実施

昨年9月から本年1月の間で、道内の168市町村を対象に、農地中間管理事業に関する聞き取り調査を実施しました。本調査の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大が懸念され、感染予防対策にご尽力されている中、各市町村等の担当者の皆様にご丁寧に対応いただきましたことにつきまして、改めて御礼申し上げます。

今後は、聞き取りさせていただいた内容を精査した上で、当公社における事業推進方策の検討や関係機関等との連携活動、施策提案などの機会に有効に活用してまいりたいと考えています。

【農用地部】

## ■ 「北海道高度情報化農業研究会」の活動のご紹介

農業分野におけるICT等先端技術を活用したスマート農業については、労働力不足への対応や技術の継承、生産性・品質の向上など、農業競争力の強化を図る上で、近年その重要性が一層増しており、大規模経営を展開している本道の農業者や農業関係者の関心と期待は特に高い状況にあります。

当公社が事務局を担当させていただいている標記研究会は、本道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進及びその健全な普及を図ることを目的に平成16年に設立されており、様々なテーマを掲げながら、会員の多様な関心・期待に応える活動や会員の交流促進、情報の共有化を重視した活動に取り組んできたところです。

令和3年（第17期）は、(1)会議の開催（総会・運営委員会）、(2)北海道情報化農業ニュースの発刊（3ヶ月毎の定期発行・随時号外）、(3)セミナー等の開催（年間2回程度）、(4)後援・行事参加、(5)他の研究会との連携を活動計画としており、昨年からは、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでのセミナー等開催を基本としています。

さる3月26日には、スマート農業セミナーとして「スマート農業の到達点と今後の方向～スマート農業実証2年目を踏まえて～」をテーマにオンラインで開催しました。ロボットトラクターやリモートセンシングに基づく可変施肥等を体系化したスマート農業実証が全国で69か所（道内5か所）でスタートし、省力化やコスト低減、収益性向上等の効果が実証されつつある中、実証事業2年目が終了した現時点での到達点と今後の方向に関する報告とパネルディスカッションが行われ、オンラインでの参加人数は198アドレスと大勢の参加となりました。

### ▼ スマート農業セミナー（R3.3.26）風景



（竹林会長（当公社理事長）開会挨拶）



（当公社内会場の様子）

▼ 北海道高度情報化農業研究会HP  
<http://www.bpe.agr.hokudai.ac.jp/hai/>

【農村施設部】

## ■ 和牛のゲノミック評価をご存じですか？

和牛繁殖経営にとって牛群の能力を高めていくことは重要な課題です。今までは血統や体型、育種価などを参考に保留する牛を決めているかと思いますが、牛の能力は同じ血統でも個体差があり、良い体型の牛が必ず良い肉を生産するとは限りません。

育種価は高い信頼がありますが、子牛の枝肉成績が必要なため、判明まで約5年かかります。遺伝子の一部を解析するゲノム育種価を用いれば、高精度で改良スピードを早めることができます。今後における繁殖雌牛の選定法の一つとして活用を検討してみてもはいかがでしょうか？

府県の市場の中には、市場名簿にゲノム育種価を載せている市場もあります。当社の優良肉用牛貸付事業では、それらの市場から積極的に肉用牛を導入しておりますので、併せてご活用をよろしくお願いいたします。

### ▼ 参 考

「産肉能力のゲノム育種価を活用した黒毛和種の早期選抜法」(H28研究成果(道総研ほか))

[https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/new\\_tech\\_cultivar/pdf/2018kobetuseika/2018\\_19.pdf](https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kihyo03/gityo/new_tech_cultivar/pdf/2018kobetuseika/2018_19.pdf)

【畜産部】

## 公益財団法人 北海道農業公社

### 本所・支所・牧場所在地

● 本所 ①～⑩ 支所・牧場



**本 所** 〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地23  
TEL.011-241-7551(代表) FAX.011-271-3776  
<https://www.adhokkaido.or.jp>



<b>監 査 室</b> TEL.011-241-7557	<b>総 務 部</b> TEL.011-241-7551	<b>担 手 支 援 部</b> TEL.011-271-2255
<b>農 業 経 営 相 談 室</b> TEL.011-522-5579	<b>農 用 地 部</b> TEL.011-241-5751	<b>農 村 施 設 部</b> TEL.011-241-5701
<b>農 場 整 備 部</b> TEL.011-241-7554	<b>畜 産 部</b> TEL.011-241-5761	<b>統 括 労 働 安 全 衛 生 委 員 会</b> TEL.011-241-7557

### 支所・牧場

#### ① 道央支所

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館  
TEL.0126-23-2178 FAX.0126-23-4260

#### ② 道南支所

〒040-0073 函館市宮前町33番13号 道南農業会館  
TEL.0138-44-5600 FAX.0138-44-5615

#### ③ 日胆支所

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号 日胆農業会館  
TEL.0144-32-8171 FAX.0144-32-3215

#### ④ 十勝支所

〒080-0013 帯広市西3条南7丁目14番地 農協連ビル  
TEL.0155-24-0254 FAX.0155-24-0261

#### ⑤ 釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館  
TEL.0154-22-1538 FAX.0154-25-4798

#### ⑥ 根室支所

〒086-1006 標津郡中標津町東6条南1丁目2番地 根室農業会館  
TEL.0153-72-3296 FAX.0153-73-2080

#### ⑦ 北見支所

〒090-8650 北見市とん田東町617番地 農業管理センター  
TEL.0157-25-2826 FAX.0157-25-9188

#### ⑧ 上川支所

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA 上川ビル  
TEL.0166-25-2613 FAX.0166-26-3464

#### ⑨ 道北支所

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館  
TEL.0162-33-3321 FAX.0162-33-7339

#### ⑩ 十勝育成牧場

〒089-2261 広尾郡大樹町字尾田708番地  
TEL.01558-7-5121 FAX.01558-7-5159